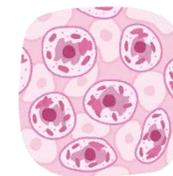


検査説明パンフレット
腫瘍マーカー



腫瘍マーカーとは

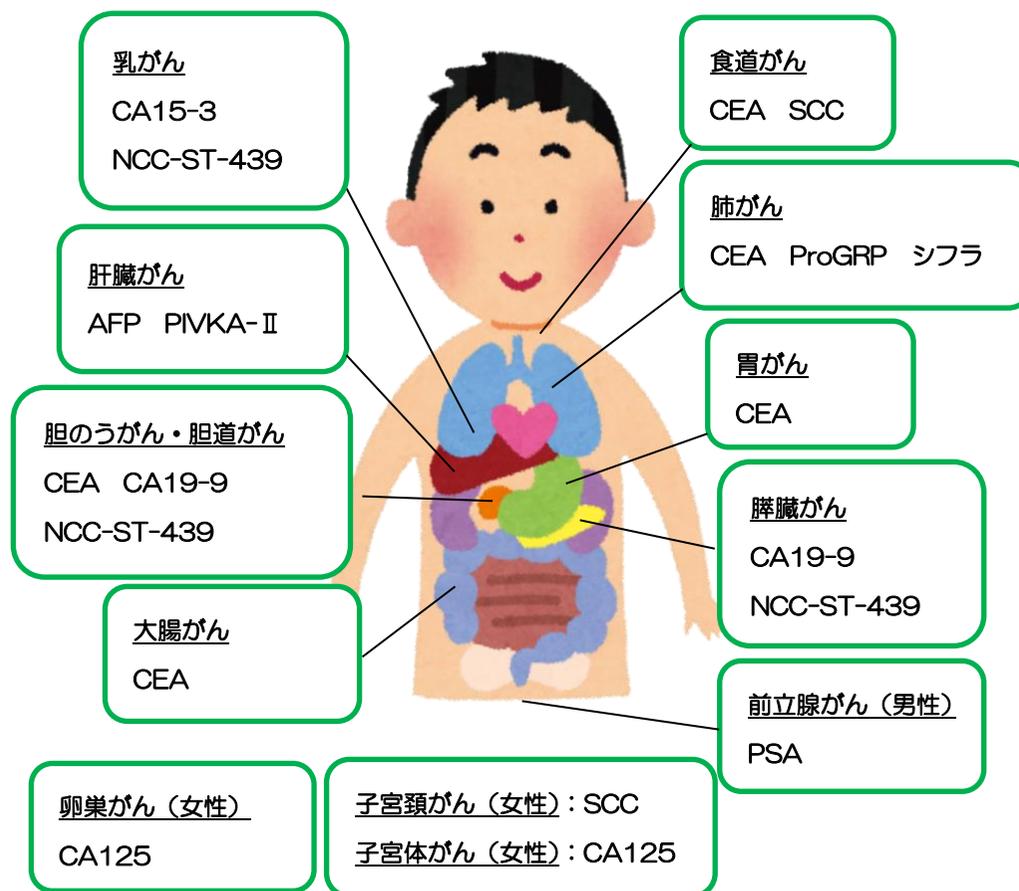
私たちの体はたくさんの細胞から作られています。それらの細胞は常に様々な傷を受けおり、細胞が欠けると、再生されるか補給されます。その過程で遺伝子に変異して、細胞が無制限に増殖するようになったものが、『がん』です。



『がん』には多くの種類があります。体のどこかに『がん』が出来ると、血液中にそれぞれの『がん』特有の物質が流れ込むようになります。そのような物質を腫瘍マーカーと言います。

腫瘍マーカー検査の多くは血液検査で調べることができます。その濃度を測定してがんの発見や診断の手がかりにします。

臓器別対象腫瘍マーカー



検査項目

当院で実施している腫瘍マーカー検査

【CEA】 基準値：4.9 ng/mL 以下

大腸がん患者さんの多くで高値となるほか、肺がんや胃がんなどでも高値になることがあります。しかし、ヘビースモーカーや妊娠している方も高値になってしまいます。

【PIVKA-II】 基準値：39 mAU/mL 以下

肝臓がんで高値を示します。ただし、ワーファリンなどの血液をサラサラにする薬を服用中の方も高値になります。

【CA19-9】 基準値：36.9 U/mL 以下

膵がん、胆嚢・胆管がんで特に高値を示します。がん以外の疾患では急性・慢性膵炎、慢性肝炎、肝硬変などで高値を示します。

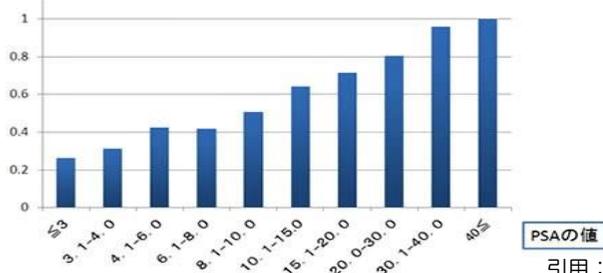
【AFP】 基準値：9.9 ng/mL 以下

肝臓がんの検査に用いられます。胃がんや膵臓がん、大腸がんなどでも高値を示します。がん以外の疾患では肝硬変、急性肝炎でも高値になります。また、妊娠している方も高値になります。

【PSA】 基準値：3.9 ng/mL 以下

前立腺がんの検査に用いられます。前立腺肥大症、前立腺炎などでも高値を示します。下の図に示すように PSA の値が高くなるに従って、前立腺がんが発見される確率が高くなります。

がんと診断される確率



引用：日本泌尿器学会ホームページ

外部委託にて実施している腫瘍マーカー検査（一部）

【CA15-3】 基準値：25.0 U/mL 以下

乳がんで高値を示すほか、卵巣がん、肺がん、膵がんや胃がんなどで高値になることがあります。また稀に乳腺良性疾患で高値を示します。

【NCC-ST-439】 基準値：女性 49歳以下 7.0 U/mL 未満
50歳以上 4.5 U/mL 未満
男性 4.5 U/mL 未満

膵がん患者さんの多くで高値となるほか、胆道がんや乳がんなどでも高値になることがあります。しかし、慢性膵炎や肝硬変、慢性肝炎でも高値になってしまいます。

【ProGRP】 基準値：81 pg/mL 未満

肺小細胞がんで高値を示します。がん以外では腎疾患で高値を示します。

【シフラ】 基準値：3.5 ng/mL 以下

肺がん、乳がん、卵巣がんで高値を示しますが、肺良性疾患でも高値を示すことがあります。

※各基準値は当院で設定しているものであるため、他施設とは異なる場合があります。

特定の腫瘍マーカーが高値だからといって、すぐに腫瘍のある臓器が特定できるわけではありません。最終的な診断は、画像検査や身体所見などを合わせ、総合的に判断されています。

